

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29211	環境指導法	本庄 眞	2年次・前期	演習・1単位	幼免・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
「保育指針」「教育要領」の領域「環境」に示された内容に加え、環境教育の重要性を理解し、その技能を習得する。具体的な指導場面を想定したグループ発表を通して、指導計画の立て方や指導の実際を学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1.「保育指針」「教育要領」の環境のねらいと内容について理解する。	A-① D-①
2.体験活動を行う際の留意点を理解し、指導計画や支援のあり方を考える。	A-② B-②
3. 幼児期における環境教育の重要性を理解し、自ら行動しようとする。	C-① D-①
4.グループ発表を通して、保育者の支援のあり方を考えることができる。	B-① D-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	30%	授業内容の理解
レポート試験 Report Examination	40%	授業のふりかえりの提出と内容
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	30%	コース地図、飼育・栽培記録、グループ発表の内容

教科書 / Textbooks
「むすんでみよう子どもと自然」 井上美智子・無藤隆・神田浩行 北大路書房(2010)

参考書 / Reference Books
・幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書、「よく分かる環境教育」 ミネルヴァ書房(2013) ・その他、必要に応じて授業で資料を配布する。

予習・復習 / Preparation・Review
予習 「むすんでみよう子どもと自然」を読んでおく。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
提出された「ふりかえり」は、適宜、次の授業に活用する。 可能であれば、授業で行った活動を自分の身近な地域で行い、発見や感想を記録・整理し、次の時間に提出する。

その他 / Others
天候などによって授業スケジュールを変更することがある。毎回、授業のふりかえりを「興味・関心」「疑問・思考」「自分との関わり」の3つに分けて記入し、提出する。準備物は、事前に告知するので忘れない。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション(授業展開についての説明)
	領域「環境」の位置づけやねらい、小学校との連携について知る。
02	幼児の体験活動と環境教育の重要性
	体験活動の必要性和環境教育の重要性が分かる。特別支援を要する子への支援のあり方を考える。
03	幼児と環境とのかかわり① 数量や図形、栽培や飼育
	数量や図形とのかかわりを促す活動を知る。栽培・飼育の要点を理解し、その計画をたてる。
04	幼児と環境とのかかわり② 体験活動と安全配慮
	体験活動(フィールドワーク等)を行うときの配慮が分かる(安全確保など)。
05	幼児と環境とのかかわり② フィールドワーク
	太田山へのフィールドワーク 気づいたことを記録し、写真にとったりスケッチする。
06	身近な環境とのかかわり③ フィールドワークの整理と評価
	太田山へのフィールドワークの整理をしてコース地図を作成し、相互評価する。
07	幼児と環境とのかかわり④ 環境教育の深め方
	地域の環境(川、土、森林など)を生かした環境教育活動について知る。
08	幼児と環境とのかかわり⑤ つなぐことによってみえる
	地域の環境(人材、福祉など)を生かした環境教育活動について知る。
09	グループワーク・身近な素材や自然物を用いた保育の実際①
	身近な素材や自然物を使用した遊具を製作する(立案)。
10	グループワーク・身近な素材や自然物を用いた保育の実際②
	自然物を用いて遊べる遊具製作の発表準備をする。
11	グループ発表・身近な素材や自然物を用いた保育の実際③
	グループ発表とふりかえりを行う(評価)。
12	保育の指導計画 人的ネットワーク・衣食住
	人的ネットワーク・地域の自然などを生かしながら、指導計画を作成する。
13	幼児と環境とのかかわり⑥ 身近なものを使ったおもちゃ作り
	身近な材料を使ったおもちゃ作りを通して、「科学的認識の芽」をどのように育てるかを考える。
14	幼児と環境とのかかわり⑦ 季節・栽培・飼育
	ゲームを通して「季節を感じる目」をどのように育てるかを考える。自分の栽培・飼育記録の結果を整理する。
15	ふりかえり 評価
	授業全体の評価・個人活動の評価(評価カードの活用)